

令和5年 9月 5日

各市町村教育委員会教育長 様
県内各中学校長 様

福島県中学校教育研究会長 高澤 正男
福島県中学校教育研究協議会いわき大会実行委員長 松本 仁志

令和5年度 福島県中学校教育研究協議会いわき大会のご案内
第二次案内

このことについて、下記の要領で開催することとなりました。
つきましては、参加者の出席についてよろしくお取り計らい願います。

記

- 1 目的 本県中学校教育研究会の設定した研究主題について、各中学校及び各支部の研究成
果を持ちより、全県的な規模において研究協議し、会員の資質の向上を図るとともに、
本県中学校教育の充実発展に資する。
- 2 主催 福島県中学校教育研究会
- 3 共催 福島県教育委員会
- 4 後援 福島県中学校長会
福島県市町村教育委員会連絡協議会
いわき市教育委員会
公益財団法人日本教育公務員弘済会福島支部
- 5 期 日 令和5年10月 5日(木)
- 6 会 場 国 語 いわき市立平第一中学校
社 会 いわき市立植田中学校
数 学 いわき市立中央台南中学校
理 科 いわき市立小名浜第二中学校
音 楽 いわき市立泉中学校
美 術 いわき市立草野中学校
保 健 体 育 いわき市立玉川中学校
技 術 ・ 家 庭 いわき市立磐崎中学校(技)
いわき市立内郷第一中学校(家)
英 語 いわき市立平第二中学校
道 徳 いわき市立小名浜第一中学校
特 別 活 動 いわき市立錦中学校
- 7 参 加 者 正会員(各支部代表会員)、各支部専門部長及び一般会員(開催地区会員)
- 8 日 程

9:30 9:50 10:10 12:00 13:30 14:20 14:30 15:45

受付	開会式	研究協議① (支部発表・各支部の取組に関する協議等)	昼食 休憩	授業公開	移 動	研究協議②・閉会式 (授業に関する協議)
----	-----	-------------------------------	----------	------	--------	-------------------------

9 令和5年度研究主題一覧

基本主題：「主体的・対話的で深い学びを通して社会を生き抜く資質・能力を身に付け、ふくしまの未来を創造する生徒の育成」

部 会	研 究 主 題 ・ 研 究 副 主 題
国 語	<p>◎言葉を用いて社会を見つめ、自ら関わろうとする姿勢を育み、思いや考えを伝え合う力を育成する指導はどうすればよいか。</p> <p>4 知識及び技能の定着を図り、それを活用するための指導の工夫</p> <p>5 思考力、判断力、表現力等を育成する指導の工夫</p> <p>6 国語における学びに向かう力の評価の工夫</p>
社 会	<p>◎持続可能な社会を実現するために必要な資質・能力を育む社会科の指導はどうすればよいか。</p> <p>4 社会的な見方・考え方を働かせ、主体的に学ぶ力を育てる授業の工夫</p> <p>5 多面的・多角的に事象を捉え、考察する力を高める授業の工夫</p> <p>6 協働的な学びを通して、新たな価値を創造する力を高める授業の工夫</p>
数 学	<p>◎数学的に考える資質・能力を育成する指導はどうすればよいか</p> <p>4 主体的に学習に取り組む態度を養う指導の工夫</p> <p>5 思考力、判断力、表現力等を育成する指導の工夫</p> <p>6 知識及び技能の習得を図る指導の工夫</p>
理 科	<p>◎科学的に探究する学習活動を通して、未来を創造するための資質・能力を育成する指導はどうすればよいか</p> <p>4 理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究する学習活動を充実させるための ICT 活用の工夫</p> <p>5 科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する単元構想の工夫</p> <p>6 日常生活や社会との関連から見いだした課題を探究し、学んだことを自己や地域に生かそうとする学習活動の工夫</p>
音 楽	<p>◎音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する指導はどうすればよいか。</p> <p>4 実感を伴う理解による知識や技能の習得につながる題材構成の工夫</p> <p>5 音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図る学習指導の工夫</p> <p>6 音楽に対する感性を豊かにする指導と評価の工夫</p>
美 術	<p>◎多様な見方や感じ方を深め、心豊かに創造する力を育む造形活動はどうすればよいか。</p> <p>4 造形的スキルを身に付けさせる工夫</p> <p>5 多様な価値観を育む指導の工夫</p> <p>6 美術の広がりや自己実現</p>
保 健 体 育	<p>◎体育や保健の見方・考え方を働かせ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育む指導はどうすればよいか。</p> <p>4 運動に主体的に取り組む態度や意欲を高める指導計画や学習過程の工夫（体育分野）</p> <p>5 運動課題の解決を目指す協働的な学習活動の工夫と学習評価の改善（体育分野）</p> <p>6 自他の健康課題に気づき、知識を活用して正しく判断し、意思決定と行動選択ができる指導計画や学習過程の工夫（保健分野）</p>
技 術 ・ 家 庭	<p>◎生活の営みや技術に係る見方・考え方を働かせ、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成するための指導はどうすればよいか。</p> <p>4 生活や社会の中から課題を見出し、見通しを持って解決しようとする課題設定の工夫</p> <p>5 主体的・対話的で深い学びを展開するための指導過程の工夫</p> <p>6 よりよい生活の実現のため、生活を工夫し創造する資質・能力を育成するためのふり返りの工夫</p>
英 語	<p>◎社会や世界と向き合い、他者との関わりを大切にしながら目的や場面、状況等に応じて、情報や考えなどを伝え合うコミュニケーション能力を育む指導はどうすればよいか。</p> <p>4 見方・考え方が働く言語活動（目的や場面、状況等）の工夫</p> <p>5 情報や自分の考えなどを形成・再構築し、伝え合うための指導過程の工夫</p> <p>6 言語活動（指導）と評価の一体化のための工夫</p>
道 徳	<p>◎自己を見つめ、他者と共によりよい生き方を探求する道徳の学びはどうすればよいか。</p> <p>4 自己を見つめ、多面的・多角的に考えることができる指導方法の工夫</p> <p>5 自己を振り返り、よりよい生き方についての考えを深めることができる指導方法の工夫</p> <p>6 自己の学びと自らの変容を実感することができる評価の工夫</p>
特 別 活 動	<p>◎様々な集団活動に自主的・協働的に取り組み、集団や個人の課題を解決し、よりよい社会を目指す生徒を育む指導はどうすればよいか。</p> <p>4 互いのよさを尊重し、協働できる集団活動の工夫</p> <p>5 集団活動への参画を通して、課題を解決する力の育成</p> <p>6 集団や社会の一員として、将来や自分らしい生き方を創造する力の育成</p>

10 専門部会指導助言者・発表者

①の数字は第1分科会等、④は地理等、⑤は技術等、⑥は全体の意になります。

部 会	指 導 助 言 者	発 表 者
国 語	①森 康博 (いわき市教育委員会) ②黒津 牧花 (いわき教育事務所) ③松山 秀和 (県教育庁義務教育課)	①遠藤優子(棚倉) 鈴木健太(会北) ②渡邊正志(桃陵) 善方昭博(天栄) ③宗像良治 (三春) 松崎亜希子(なみえ創成)
社 会	④伊藤 貴史 (県教育庁義務教育課) ⑤渡邊 大輔 (県教育センター) ⑥星野 尊乗(いわき市総合教育センター)	④小出智義(逢瀬) 風間達則(柳津学園) ⑤鈴木彰太(岩代) 五十嵐太陽(若松二) ⑥角田直之(福島二) 三瓶祐太(長沼)
数 学	①佐藤 盛俊 (県教育庁義務教育課) ②田仲 裕一 (いわき教育事務所) ③先崎 浩之 (県教育センター)	①北川健一(郡山一) 五十嵐淳(猪苗代) ②石村武裕(ひらた清風) 永山雄大(金山) ③梁川大樹(西郷一) 中目公禎(ふたば未来)
理 科	①志賀 匡行 (県教育庁義務教育課) ②猪俣 和弘 (県教育センター)	①山川晃広(郡山五) 金田孝介(河東学園) 門馬徳夫(川内小中) ②佐藤峻一(桃陵) 高山正康(須賀川二)
音 楽	⑥梅宮 真里 (県教育庁義務教育課)	⑥佐藤祐子(安達) 薄井成美(郡山三)
美 術	⑥米本 順一 (県教育庁義務教育課)	⑥正会員 (参加者全員)
保 健 体 育	①鈴木 一憲 (いわき教育事務所) ②横須賀 潤 (いわき市教育委員会) ③志賀 健一 (県教育センター)	⑥五十嵐岬(蓬萊) 菅内奏美(附属) 和田壮央(天栄) 馬場亮太(会北) 鈴木悠治(富岡)
技 術 ・ 家 庭	④伊藤 寛 (県教育庁義務教育課) ⑤高橋 徹 (県教育センター) ⑥左雨 貴子 (県教育庁健康教育課)	④佐藤孝文(桃陵) 小野塚一洋(須賀川二) 菊地寿孝(白河中央) 高倉弘文(矢吹) 馬場宏昌(南会津) ⑥佐々木智子(伊達) 柴田姫那(二本松一) 柳沼香奈(矢吹) 星美香(若松五)
英 語	①松本 涼一 (県教育庁義務教育課) ②鈴木真由美 (いわき教育事務所) ③樋山 浩 (県教育センター)	①後藤悠理(埴) 須藤慧(田島) ②渡部紅実(県北) 藤田賢一(須賀川一) ③理崎有香(石川)
道 徳	①江花 洋介 (県教育庁義務教育課) ②深瀬 和(いわき市総合教育センター) ③折内 弘子 (いわき市教育委員会)	①山田隆(行健) 渋川正貴(一箕) ②平岡杏樹(福島一) 中島史弥(下郷) ③黒須一希(船引) 前大敏裕(白河南)
特 別 活 動	⑥赤津 功 (県教育センター)	⑥内藤好一郎(二本松一) 安西風太(仁井田) 星えりか(中村二) 長沼裕平(檜葉) 箱崎久一(湯本一) 和泉勝之(磐崎)

11 運営

教科等	研究協議① 代表参加者 支部発表等	授業数	研究協議② 代表・開催地区 授業に関する協議
国 語	3 (1年、2年、3年)	3 (1年、2年、3年)	3 (1年、2年、3年)
社 会	3 (地理、歴史、公民)	3 (地理、歴史、公民)	3 (地理、歴史、公民)
数 学	3 (1年、2年、3年)	3 (1年、2年、3年)	3 (1年、2年、3年)
理 科	2(第1分野、第2分野)	2(第1分野、第2分野)	2(第1分野、第2分野)
音 楽	1 (全体)	1 (表現)	1 (全体)
美 術	1 (表現)	1 (表現)	1 (表現)
保健体育	1 (全体)	1 (球技)	3 (指導2、評価1)
技術・家庭	3 (技術2、家庭1)	2 (技術、家庭)	2 (技術、家庭)
英 語	3 (1年、2年、3年)	3 (1年、2年、3年)	3 (1年、2年、3年)
道 徳	3 (1年、2年、3年)	3 (1年、2年、3年)	3 (1年、2年、3年)
特別活動	1 (全体)	1 (2年)	1 (全体)

12 参加者の準備資料

- (1) 各支部代表及び発表者は、資料を9月8日(金)までに下表の送付先へ、PDFデータで送付して下さい。様式等は7月18日付県事務局からの依頼文でご確認ください。

教科等	資料送付先学校	アドレス
国 語	いわき市立泉中学校	head.iwaki-izumi-j@fcs.ed.jp
社 会	いわき市立小名浜第二中学校	head.onahama2-j@fcs.ed.jp
数 学	いわき市立勿来第二中学校	head.nakoso2-j@fcs.ed.jp
理 科	いわき市立内郷第二中学校	head.uchigo2-j@fcs.ed.jp
音 楽	いわき市立好間中学校	head.yoshima-j@fcs.ed.jp
美 術	いわき市立草野中学校	head.kusano-j@fcs.ed.jp
保健体育	いわき市立内郷第一中学校	head.uchigo1-j@fcs.ed.jp
技術・家庭	いわき市立田人中学校	head.tabito-j@fcs.ed.jp
英 語	いわき市立入遠野中学校	head.iritono-j@fcs.ed.jp
道 徳	いわき市立久之浜中学校	head.hisanohama-j@fcs.ed.jp
特別活動	いわき市立磐崎中学校	head.iwasaki-j@fcs.ed.jp

- (2) 大会要項及び教科別要項は、「福島県中学校教育研究会のHP」上に掲載したものを、県大会の参加者等は各自、HPからダウンロードして持参して下さい。
- (3) 自然災害等のため中止や変更等が生じた場合は、前日10月4日(水)の15時までに上記(2)のHPに掲載いたします。
- (4) 昼食は参加者ご自身でご準備ください。

13 大会事務局

〒979-3131	いわき市平赤井字大門13
	いわき市立赤井中学校 校長 川村 雅茂
TEL (0246) 25-4610	FAX (0246) 25-4612
E-mail	head.akai-j@fcs.ed.jp